NEC 照明器具 取扱説明書

保存用

- このたびはNEC照明器具をお買いあげくださいましてありがとうございました。
- 施工の前には必ずこの取扱説明書を最後まで読み、正しく施工してください。
- 取付工事が終わりましたら、この説明書は、ご使用になるお客様が保管してください。

対象器種 "高調波ガイドライン適合品"	ME32256MN-F42
適合ランプ	NEC高周波点灯専用蛍光ランプ　FHF32 NEC蛍光ランプ　FLR40S(/36) , FL40S(S/37)

このたびはNEC蛍光灯器具をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
この器具は電子安定器を採用しておりますので、電源周波数に関係なくご使用できます。

- **素人工事は法律で禁じられております。**

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

- **工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。**

工事店様へ　施工上のご注意

⚠警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災等の原因となります。（取り付け）
- 電源線接続の際は、5 器具本体の取り付け②に従って確実に行なってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災、感電の原因になります。

- アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に行なってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。

- 器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。器具落下、感電、火災等の原因となります。（改造）
- この器具は、断熱施工不可です。断熱施工される場合、2 断熱材・音材の施工法に従って施工してください。施工に不備がありますと火災の原因になります。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- この器具は屋内専用で、5°C~35°Cの範囲で使用するよう設計してあります。高温で使用しますと火災の原因となります。屋外や湿気、水気のある場所で使用しますと、湿気の侵入による絶縁不良、感電の原因になります。（温度 屋外）

- 器具に表示された電源電圧(定格電圧±6%以内)以外の電圧でご使用しないでください。間違って使用しますとランプ、安定器などの短寿命、火災の原因となります。(器具の定格電圧と電源電圧は器具を取付ける前に必ず確認してください。)（電源電圧）

- **お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。**

お客様へ　使用上のご注意

⚠警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。（電源を切って）
- ランプや器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすい物を近づけたりしないでください。火災の原因になります。（可燃物）
- ランプの端部が黒ずんだり、暗くなった時は、早めに交換してください。ランプ交換の際は、必ず本体表示並びに取扱説明書通りの種類・ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。間違った種類・ワット(W)数のランプを使用した場合は、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。
- センサなどと組合わせて点滅回数が多くなる場合はHfランプ、FLRランプのご使用をお勧めします。また、FLランプはHfランプに比べて点滅寿命が短くなります。
- 電源を入れた状態でランプ交換を行うと、ランプが点灯しない場合があります。

適合ランプ

⚠注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 器具を洗剤、薬品で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。器具の破損、落下、感電の原因となります。（薬品類）

- 器具を清掃する際は、ソケット等の樹脂部には、水、洗剤、薬品などは使用しないでください。部品の劣化や感電の原因になります。（ソケット）
- 器具を清掃する際は、乾いたやわらかい布か、水で浸したやわらかい布をよく絞ってから拭いてください。
- ランプを清掃する際はランプを器具から外して乾いた布で拭いてください。（ランプ 器具清掃）
- 金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷つけたり腐食の原因となります。（金属部分）

- **この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、環境により異なりますが約10年です。(定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。)**

⚠お願い

- ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。
- 間引き点灯の場合は、分岐回路をもうけ、そのスイッチで消灯してください。

■各部のなまえ

器具質量
7.5Kg

- 器具本体とシステムユニットは別梱包・別売です。
- 増灯ユニット(L32156MN-F42)を取り付けて3灯用に増灯可能です。但し、B32256タンタイV、B32256タンタイKとの組合せ時は、増灯できませんので、ご注意ください。
- 増灯ユニット(L32156MN-F42)使用時には、下表のように電気容量がアップしますので、あらかじめ電気容量についてご配慮ください。

ランプ	入力電流	
	基本灯具のみ	基本灯具＋増灯ユニット
FHF32	0.36A-0.15A	1.05A-0.42A
FLR40S/36	0.36A-0.15A	1.05A-0.42A
FLR40S	0.36A-0.15A	1.05A-0.42A
FL40SS/37	0.36A-0.15A	1.05A-0.42A
FL40S	0.36A-0.15A	1.05A-0.42A

この取扱説明書は同種類の蛍光灯器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図がちがっている場合があります。

■器具の取り付けかた

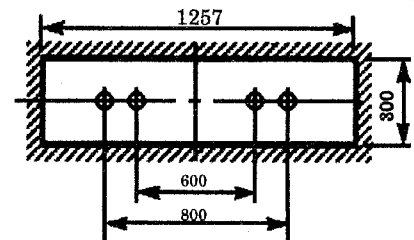
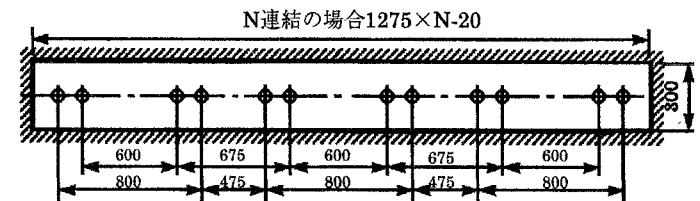
(単位mm)

1 器具の埋込穴と取付ボルト位置

埋込穴をあけ、そのまわりに野縁を組込んでください。

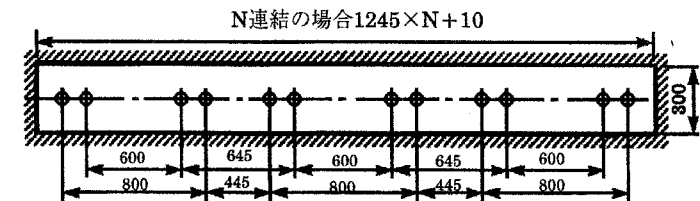
単体取付

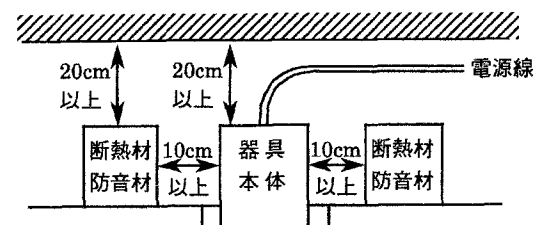
N連結の場合1275×N-20

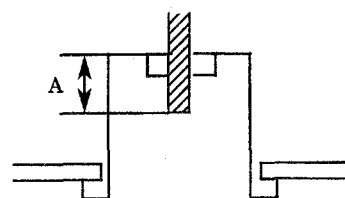
600　675　600　675　600
800　475　800　475　800
300

連結取付(単体用器具の場合)

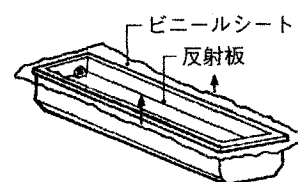
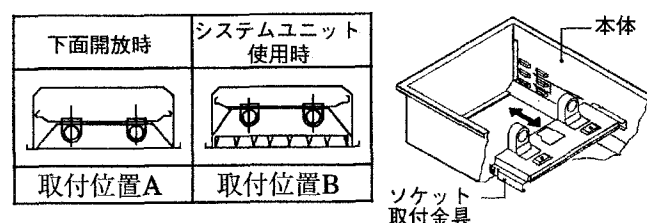
連結取付(連結用器具の場合)

■器具の取り付けかた

2 断熱材･防音材の施工法

（住宅の断熱施工天井ではご使用出来ません。
住宅以外の断熱施工天井でご使用の場合の施工方法。）

- 電気配線は断熱材防音材の上側にくるように配線してください。
- 器具本体に電源線を接触させないでください。

3 器具取付ボルトの埋込寸法

A寸法は、50mmを超えないようにしてください。

4 器具の取り付け準備

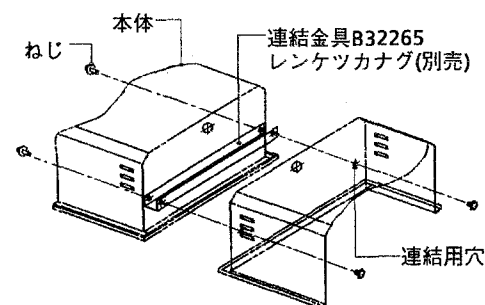
① 化粧ねじをはずしたあとビニールシートを持って、反射板を取り出してください。

② ソケット取付金具は上下に2段移動します。金具を確実にセットしてください。

5 器具本体の取り付け

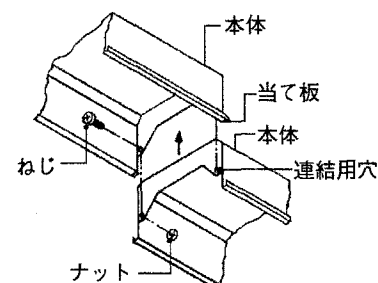
① 本体を取付ボルトに確実に取り付けてください。
(取付ボルトはW3/8またはM10を使用し座金を必ず入れてください。)

不備がありますと、器具落下の原因となります。

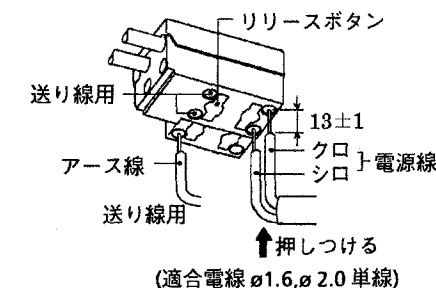
(注) ナットを締め過ぎますと、器具が変形する場合がありますので器具本体の枠部が天井面に密着したところで締め付けをおやめください。

<本体の連結取付>

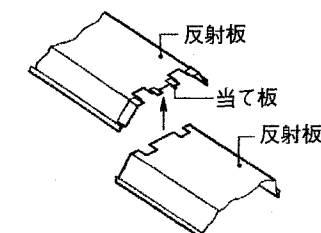
単体用器具の場合
連結金具B32265レンケツカナグ(別売)をお買い求めいただき、本体の連結用穴を使用して付属のねじで連結してください。

連結用器具の場合
左端部(当て板付)から順次取り付け、本体の連結用穴を利用して付属のねじとナットで連結してください。

■器具の取り付けかた

②電源線、アース線を端子台に確実に差し込んでください。
リリースする場合は、必ずリリースボタンをドライバーで押し込んで線を引き抜いてください。

不完全な場合とリリースボタン以外を押した場合は、接続不良による発熱、火災、感電の原因となります。

③ 電源線、アース線の挿入部は、反射板との当たりを防ぐため小さく曲げ、端子台に押しつけてください。

④ 反射板を化粧ねじで取り付けてください。

不備がありますと、落下の原因となります。

連結取付　反射板を左端部(当て板付)から順次取り付け、当て板に反射板が当たるように取り付けてください。

⑤ ランプを全数確実に取り付けてください。

⑥ システムユニットを取り付ける場合は、システムユニットの取扱説明書により確実に取り付けてください。

NECライティング株式会社
東京都品川区西五反田二丁目8番1号(五反田ファーストビル)
〒141-0031 http://www.nelt.co.jp/
※この紙は再生紙を使用しています

<お客様相談室>
フリーダイヤル 0120-52-3205
受付時間 平日9:00~12:00 13:00~18:00
(土、日、祭日は受け付けておりません)
FAX. 03-5719-8131

(001ON049)A